

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0305	政策名	芸術文化の振興	施策主管課	文化財課	課長名	鈴木 直明
政策の目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます						
施策No	03	施策名	文化財の保護と活用	関係課名	博物館		
施策の目指す姿	文化財を適切に保護・活用しています						

現状と課題

【現状】

- 市内には、地域の歴史や文化を伝える有形・無形文化財が数多く所在していますが、滅失や廃絶のおそれが生じているものもあります。
- 市内の文化財に興味・関心のある市民の割合や、市内の文化財等を知っている市民の割合が低い状態です。

【課題】

- 文化財の保存・保護・伝承のための課題を整理し、所有者や関係者と共に必要な措置を講ずる必要があります。
- 文化財に対する市民の関心や認知、保護に係る理解が十分に浸透していないことから、向上させる手立てが必要です。

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

- ・コミュニティ会議単位で実施したワークショップにより、市民に文化財への関心と保護の大切さは一定程度理解していただいた。今後それを生かして文化財保存活用計画策定を進める。
- ・総合文化財センターは、埋蔵文化財の収蔵・管理のほか、文化財の情報発信施設として企画展や体験学習を引き続き実施していく。
- ・市民が花巻の歴史や文化に興味を持ってよう、知的好奇心に応える魅力ある展覧会を開催する。
- ・各種講座や体験学習の内容を見直ししながら、参加者へのアンケート調査を実施する。

反映状況

- ・令和5年度の文化財保存活用地域計画策定に向けて、令和4年度は策定協議会を2回開催し、委員からの意見を計画書に反映させ、文化庁の指導も受けながら計画書素案作業を進めた。
- ・ハヤチネウスユキソウに魅せられた国内初の女性登山家である坂倉登喜子さんが収集した資料の展示・紹介をした「エーデルワイスの世界展」の開催により、多数の市民や登山関係者が入場した。その他の企画展は、コロナ以前の入場者数に届かなかったものの、アンケート結果は、満足度が高いものだった。
- ・20世紀巨匠の版画、ポスター、表紙絵等を展示した特別展のほか、花巻に関わるテーマを題材とした展示会を開催し好評を博した。また、花巻の歴史や文化に対する知識を深められるよう内容を工夫して講座や体験学習を開催し、参加者からはとても勉強になったとの感想をいただいた。
- ・新型コロナウイルスの影響により「埋蔵文化財講演会」を「展示解説会」に代えて実施したが、「花巻の遺跡を学ぶ会」は予定どおり実施できた。体験学習では、引き続き感染対策を意識しながら実施した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 文化財の保護

- ・文化財の調査と指定（調査：宮澤商店土蔵①、土蔵②、花巻の道標Ⅱ北上川西岸地域の様相）
- ・国、県等の有形・無形文化財指定登録に向けた支援（R4は実績なし）
- ・市が所有している文化財の適切な管理（国指定天然記念物2件、国指定重要有形文化財2件、市指定重要有形文化財2件）
- ・個人等が所有する文化財の適切な保存のための指導と維持補修に対する補助（修理：県指定2件、市指定1件）
- ・埋蔵文化財保護のための適切な周知と指導（届出受理157件、試掘調査9件・工事立会13件）
- ・埋蔵文化財の記録保存及び分布状況調査（記録保存調査1件：花巻城跡、分布状況調査3件）
- ・総合文化財センターにおける埋蔵文化財の整理、分類、保管（再整理：花巻地域出土資料コンテナ219箱分）

(2) 文化財の公開と活用

- ・各種講座、講演会、セミナー等の開催（早池峰高山植物観察会、古民家歴史学習会、花巻の山城を歩く）
- ・文化財を生かした地域事業や学校教育への協力（中学校・高校による施設見学、子供会体験学習、郷土史講座など13件）
- ・説明板や案内板等の改修、設置（設置3、修繕3 計6基整備）
- ・文化財施設での特別展、企画展の充実（総合文化財センターでの企画展「エーデルワイスの世界」「遺跡のモノがたり」「早池峰の花を紹介した人々」計3回）

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座等に参加しているか、その状況を示す数値	文化財に対する興味・関心や理解をするため、市内にある文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座等に参加しているか、その状況を示す数値	出典：まちづくり市民アンケート 問：あなたは、この1年間に市内文化財施設（花巻市博物館、石鳥谷歴史民俗資料館、石鳥谷農業伝承館、大迫郷土文化保存伝習館、総合文化財センター）を訪れたり、文化財に関する体験学習、セミナー、講話等に参加したことがありますか？ あると答えた市民の割合	%	目標値		22.00	23.00	24.00	25.00	
				実績値		9.60	11.60	9.50		
文化財に関する講座・セミナー等への参加者数	市民が文化財に触れたり興味・関心を有しているかを示す指標	文化財関連施設（博物館、総合文化財センター）が行う講座やセミナー等への参加者数	人	目標値		4,400.00	4,400.00	4,500.00	4,500.00	
				実績値		2,771.00	4,217.00	3,481.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「文化財関連施設を訪れたり、講座・セミナー等に参加した市民の割合」…【達成度c】</p> <p>■成果指標「文化財に関する講座・セミナー等への参加者数」…【達成度c】</p> <p>・文化財関連施設を訪れたり、講座・セミナー等に参加した市民の割合は、コロナ禍の影響もあり伸びなかったこともあるが、まだまだ市民の関心が薄いので、引き続きPRに努めていく。</p> <p>・博物館の講座や体験学習は、花巻に関わるテーマの各種講座やワークショップ等を行ったほか、勾玉づくり等の体験学習を開催したが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため回数を減らしたことから受講者数は前年度より減少した。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(文化財保護活用事業)多くの市民が郷土の歴史、文化財に関心を持ち、保存・保護に協力していくという意識の醸成が必要である。</p> <p>(埋蔵文化財保護活用事業)一般市民に興味や関心を持ってもらうための方策が必要である。</p> <p>(展示活動事業)郷土の考古、歴史、美術・工芸等に対する市民の関心を高められるよう工夫した展覧会を開催する。</p> <p>(教育普及活動事業)各種講座や出前授業、体験学習の内容を随時見直ししながら、参加者のニーズに応えるよう努める。</p> <p>(市史編さん事業)編さんの進捗状況をホームページ等により市民に周知する。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が文化財に関心を持ち、制度や保護の方策等について知ってもらう必要がある。 ・年数回開催する企画展については、郷土の考古、歴史、美術・工芸等の中から、市民の興味を引く魅力ある内容とする必要がある。 ・各種講座や体験学習は、時流に合った内容を取り入れるなど、市民の関心を促して参加者の増加を図る必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・総合文化財センターは、埋蔵文化財の収蔵・管理のほか、文化財の情報発信施設として企画展や体験学習を引き続き実施していく。 ・企画展の内容を検討する際には、郷土の考古、歴史、美術・工芸等に対する市民の関心を高められる選択を行い、知的好奇心に応える魅力ある展覧会を開催する。 ・各種講座や体験学習は、時流に合った内容を取り入れて市民の関心を促すほか、参加者へのアンケート調査なども参考に、適宜内容を見直しして参加者の増加を図る。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	文化財保護活用事業費	文化財	一致	直結	C
	文化財調査(2件)、市所有文化財の管理(建造物4件、天然記念物2件)、石鳩岡・土沢神楽の映像記録作成、文化財保存事業費補助金(県指定2件、市指定1件)、説明版設置&修繕(6件)、市民向け講座の開催				
			A		
020	埋蔵文化財保護活用事業費	文化財	一致	直結	C
	開発に係る届出(157件)のうち記録保存(1遺跡)、市所有遺跡の管理(5件)、総合文化財センターの企画展(3回)、講演会(2回)、講座(参加者数729人)、体験学習(参加者149人)、遺跡標設置(5件)				
			A		
030	展示活動事業費	博物館	一致	直結	C
	特別展(1回)、テーマ展(4回)、共同企画展(1回)、収蔵庫ガスくん蒸(1回)、表装(2幅)、刀剣研磨(6振り)、酒造用具修復(45件)				
			A		
040	教育普及活動事業費	博物館	一致	直結	B
	講座(20回 185人)、出前授業(32回1,568人)、見学対応(10回 495人)、体験学習会(9回 152人)				
			A		
050	市史編さん事業費	博物館	間接・少数	間接・補完	-
	編さん委員会の開催(1回)、資料の収集調査(通年)				
			C		